

会 議 録

会議の名称	第10回米山地域学校再編準備委員会	
開催日時	令和3年5月26日(水)	
	午後7時00分 開会	
	午後8時35分 閉会	
開催場所	米山農村環境改善センター1階多目的ホール	
委員出席者	渥美 雅彦 委員長	米岡小学校PTA顧問
	伊藤 美和 委員	米山中学校PTA会長
	佐藤 雄亮 委員	中津山小学校PTA会長
	岡崎 満 委員	米山東小学校PTA会長
	島本 和男 委員	米山町行政区長会長
	千葉 由香 委員	米山東幼稚園PTA会長
	伊藤 弘美 委員	米山西幼稚園PTA会長
	菅原 拓巳 委員	よねやま保育園保護者会長
設置要綱第8条 第2項に基づく 出席者	久保 泰宏	米山中学校学校運営協議会前会長
	浅野 昭一	米岡小学校学校運営協議会前会長
	登坂 佳子	中津山小学校学校運営協議会前副会長
	高橋 正司	米山東小学校学校運営協議会前会長
事務局出席者	小野寺 文晃	教育長
	平山 法之	教育部長
	白岩 登世司	学校再編推進室長
	千葉 道宏	学校再編推進室長補佐兼学校再編推進係長
	西條 文武	学校再編推進室主査
	佐藤 春香	学校再編推進室主事
説明員	小野寺 憲司	総務部次長兼政策推進監
	箕浦 国彦	総務課公共施設利活用専門監
傍聴者	0名	
議事	(1) 米山地域における学校再編の検討経過について (2) 「米山地区公共施設等複合化事業」について (3) 米山地域学校再編実施計画(案)について (4) 今後の予定について (5) その他	
議事	事務局	開会 午後7時00分
	委嘱状交付	委員へ委嘱状を交付
	教育長	開会挨拶
	副委員長選任	副委員長は島本和男委員に決定
	事務局	(前回会議及び今回会議の議事の内容について確認)
	委員長	(1)米山地域における学校再編の検討経過について事務局に説明を求める。
事務局	(資料に基づき検討経過を説明)	

委員長	事務局の説明に対して確認事項、質問はあるか。 (無しとの声あり)
委員長	(1)については了解を得たものとする。次に、(2)「米山地区公共施設等複合化事業」について事務局に説明を求める。
説明員	(資料に基づき当該事業について説明)
委員長	内容の説明に対して質問はあるか。学校再編準備委員会として、統合校の位置を米岡地区に決定したタイミングで複合化事業の話があった経緯がある。
委員	学校再編準備委員会で複合施設全体の検討までするのか。社会教育施設や支所の関係もあるが、どのように考えているのか。
事務局	これまで米岡小学校の改修と複合化事業の2案があり、今回は複合化事業の調査結果が出てきたため、どちらの案がよいか検討いただくものである。学校の部分について検討いただきたい。
委員	学校については学校再編準備委員会でもよいと思うが、支所機能、公民館機能となると様々な意見があると思う。それを学校再編準備委員会だけで検討してよいものか。それとも別の組織を立ち上げて今後考えていくのか。
事務局	学校再編の準備委員会ということで、今まで協議いただいた。支所やその他の公共施設の部分については、別途意見を伺う機会が出てくると思う。この組織では、これまでの議論を踏まえ、学校再編準備委員会として米山地区の小学校再編についての方向性を決定いただければと考えている。
説明員	今回、様々な用途の施設の複合化ということで計画しており、オール米山で検討していきたい。事業の推進にあたってはコミュニティ組織や区長、PTAの協力をいただいて米山地区事業推進研究会を立ち上げ、その中で検討していきたい。
委員長	米岡小学校を改修して使用するか、複合化事業に賛同するかのどちらかを選ぶという形になるのか。
事務局	次の議事で学校再編実施計画について説明するが、それで全体の流れが分かると思う。
委員長	複合化事業と併せて質問する方がよいか。
事務局	学校再編実施計画(案)について一度説明し、複合化事業と併せて質問いただくこととしてよろしいか。

委員長	それでは、(3) 米山地域学校再編実施計画(案)について事務局に説明を求める。
事務局	(資料に基づき当該計画について説明)
委員長	説明を踏まえ、(2)の議事と併せて質問をいただければと思う。米岡小学校を改修して小学校単独で進めた方がよいか、それとも複合化事業で小学校を整備する方がよいかの2案が示されている。どちらが将来子どもたちにとってよいのか、各団体でできる限り意見をまとめ、次回持ってきていただきたい。疑問や各団体への説明方法など質問はないか。
委員	所属団体の執行部で話合う際に会議資料を提示してもよいか。口頭ではなく資料を配布して説明したい。
事務局	配布いただくことは可能である。
説明員	文部科学省の委託事業にPPP/PFIとあるが、導入可能性調査においてすべて一括で発注する方式がよいのではないかという結果が出ている。資金調達を市で行う場合はPFIではなくPPPという官民連携の手法になる。各団体で説明する際には、PFIではなくPPPということでご理解いただきたい。
事務局	総務部から説明があったが、整備手法についてはまだ決定したわけではない。調査で優位性があるのではないかと報告があったという状況である。米岡小学校を改修して統合校とする方法と、複合施設の中で統合校も新築するという方法で説明いただきたい。
委員	まだPPP/PFIのどちらでもないということか。気になることとしては、PPP/PFIの希望があれば確実にこの方向性で進められるということの説明でよろしいか。
説明員	今回は、あくまでも導入可能性調査の結果報告であり、それをそのまま利用するわけではない。様々な手法があり、今後方向性を決めていきたい。
委員	複合施設に小学校を入れるということは希望すれば叶うのか。希望したが、複合施設には入れないということにはならないか。
委員	複合施設について、市としてはいつ頃までに結果を出すのか。市の方針が決まればそれに向かって検討できると思う。令和8年から運用開始することだが、基本設計や実施設計の前までには決まるのか。
説明員	方向性が決まれば、基本構想、あるいは計画を予算計上できないかと考えている。予算計上するということは一定程度の意思決定となる。様々な協議が必要であり、今年の9月頃までには方向性をできれば決定したい。
出席者	もし仮に、学校再編準備委員会としては米岡小学校を改修する案で進め

	<p>るとした場合、複合施設から小学校は抜けることになるのか。</p>
事務局	<p>米岡小学校を改修し、複合施設も整備する場合には、委員の意見を尊重しなければならない。</p>
事務局	<p>今までの学校再編準備委員会での議論では、米岡小学校を改修する案で始まったと承知している。その後、複合化事業について説明し、米岡小学校を改修する方法と複合施設として進める方法で並行して検討されてきたと認識している。学校再編準備委員会としての決定をいただきたいということであり、その決定は十分尊重されるべきだと考えている。</p>
出席者	<p>両方一緒に進むということは、本来はあり得ない。お金の問題が大きい。誰しもが新しい施設に子どもたちを入れたいと思う。ただし、一番心配なのはお金であり、借金がどのくらい生まれるのか。それを度外視して複合施設で大丈夫だと捉えてよいものなのか。</p>
教育長	<p>令和2年1月の会議で「PFIによる公共施設整備計画が活用可能な場合はそちらを活用したい」旨の意見があり、PPP/PFIの導入可能性を調査し、可能な状況との結果が出た。その実施の決定については、学校再編準備委員会での合意がないと進まないのではないかと感じている。3校が統合して新校になるという合意があり、米岡小学校を改修する案で進んできた。ところが、途中からPPP/PFIの手法というもう一つの選択肢が増えた。そこで、再編新校の位置と開校時期について、2つの案のどちらがよいか同意をいただくというのがこの会議のポイントだと思う。各団体で意見を集約いただき、次の会議で方向性が決まれば、総務部で関係省庁に働きかけて進めていくということ捉えていただきたい。PPPありきではない。どちらを選択するのが子どもたちにとって望ましいのか検討いただきたい。</p>
出席者	<p>個人としては、新しい施設がよい。米岡小学校を改修して、児童館が複合施設にあるという状況はあり得るのか。児童館と小学校が一緒にあり、児童館に迎えに来てもらうなど、それが複合施設の利便性の一つではないか。意見を聞かないと前に進まないというのは当然だが、複合施設を今後充実していく方向に力が入るのではないか。</p>
教育長	<p>各団体の総意をもって、米岡小学校の改修でも、複合施設でも米山地区の一本の考えとしてまとめ、子どもたちのための環境づくりをするという方向性を探っていただきたい。</p>
委員長	<p>令和2年1月の学校再編準備委員会で、PPPの話が進むならばそちらで進めたいという意見があった。当時の意見のままであればPPP/PFIの方向で進めるという状況であるが、一度、各団体で複合化事業も可能となったことを話していただき、各団体からも賛同を得たうえで次回の準備委員会に意見を持ってきてもらうという形よろしいか。</p>
事務局	<p>(肯定)</p>

委員長	各団体での説明にあたって、質問はあるか。
委員	複合施設のプールは3階になるのか。
説明員	これから基本計画や基本設計の段階で変わることはあり得る。昨年のワークショップでの意見をもとに作成した配置図である。
委員	ワークショップでの案ということは分かっているが、公民館や支所機能があることで不特定多数が出入りできるため、防犯面が不安である。
委員長	ワークショップでもその意見は出た。どこで区切るかなど今後意見を頂くとする。
出席者	令和2年1月の段階でPPP/PFIの話が出てきて、活用できれば活用したいという話になっていた。段々と具体的になり、防犯面など課題が見えてきて進んでいるという実感が湧いてきた。あまりに大きな話で、一人の子どもの親としての立場とは違うところで議論しなければならないことが山積みだと感じた。よい方向にいけばよいと思う。
委員長	その他、質問や確認したいことはないか。
教育長	意見集約の際に資料を提示して構わないかという話があったが、合意事項の部分を抜粋すると説明しやすいのではないか。防犯面などの具体的な要求はその後となる。早くスタートできれば早い段階で多くの議論を積み重ねられる。
委員	合意事項をベースとして、必要な資料を抜粋して組み合わせようと思っていた。
教育長	開校までのスケジュールも入っているため、2つの案の差が分かる。現職時代に中学校の統廃合に関わったが、校歌、校章を作るのに大変なエネルギーと時間を要した。作曲者や作詞者、校章のデザインから始め、1年から2年程度かかった。
出席者	次回会議までに各団体で集まる機会があれば、複合施設に小学校が入るのが1案、米岡小学校を改修するのが2案として、意見を聞くということによろしいか。
事務局	(肯定)
出席者	次の段階で校章等を検討することとなるが、今回の会議の内容を各団体に持ち帰り、意見を聞いてくるということによろしいか。
事務局	そのとおり、まずはどちらの案にするか決めていただきたい。校章等は開校準備委員会で詳細を検討していくことになる。
委員長	次回会議までに各団体で確認をお願いする。他に質問はないか。

		(無いことを確認)
委員長		(2)、(3)について了解を得たものとする。次に、(4)今後の予定について事務局に説明を求める。
事務局		(資料に基づき今年度の予定を確認)
委員長		説明があったが、質問はないか。
		(無いことを確認)
委員長		次回までに方針について各団体で意見をまとめていただければと思う。続いて、(5)その他について事務局から何かあるか。
事務局		次回会議の日程を確認させていただきたい。事務局案としては6月15日を予定しているが、よろしいかお伺いする。
委員長		次回会議日程について何か意見はあるか。
		(無いことを確認)
委員長		6月15日までに各団体で可能な範囲で意見をまとめていただきたい。他に質問が無いようなので、以上で本日の会議を終了する。
事務局		閉会 午後8時35分